

温かい陽の光が降り注ぎ、春の息吹が感じられる季節となりました。本日、このような素晴らしい卒業式を挙げて頂き、卒業生一同、心より感謝しております。また、校長先生からの最後の御言葉、そして後輩たちからの別れの言葉を受けて、卒業を迎えた喜びと、惜別の思いに胸の震えを抑えることができません。こんなにも多くの祝福に包まれて旅立てることを、とても幸せに思います。

思い返せば、ふたば未来学園の門をくぐり、入学してからの三年間は本当にあっという間でした。仲間と過ごした何気ない日々も、今となってはかけがえのない時間に思えます。過ぎ去ったふたば未来学園での日々が短く感じられるのは、毎日の学校生活がそれだけ充実していた証だと思います。

私たちの高校生活の初めの二年間は、広野中学校の校舎をお借りしての生活でした。先輩方と共に楽しんだ体育祭や球技大会、校内文化祭など、そこで過ごした二年間はとても思い出深いものとなりました。開校から四年間、ふたば未来学園の生徒のために校舎を貸していただいたおかげで、私たちは、何不自由なく勉強に部活動に打ち込むことができました。これまで御理解をいただき、支えてくださった方々に深く感謝申し上げます。新校舎に移転した今でも、広野中学校の前を通るたびにそこで過ごした二年間が懐かしく、たくさんの思い出が蘇ります。

今年度から中高一貫校となり、新校舎での生活が始まりました。新校舎には多くの方々の御支援と御協力、そして強い思いが込められていると伺いました。この校舎で生活するにつれ、この場所に込められた思いを実感します。御助力を頂いた皆様に、深く感謝申し上げます。十月には新校舎で初めての公開文化祭が開催されました。企画の立案から運営まで、全てが初めてで、多くの困難がありました。さらに、本番前日には台風が直撃するなどの災難にも見舞われました。被害を受けた生徒もあり、中止にする案も出ましたが、このような時だからこそ文化祭で地域を明るくしたいという生徒の熱い思いを受け、先生方と実行委員、生徒会が話し合いを持ち、開催することができました。どのクラスも一致団結し、生徒ひとりひとりの個性が輝いていました。たくさんの人に来場してもらいたいと頑張ってきた生徒の努力が実り、当日は二千人を超えるお客様が来場してくださいました。

また、ふたば未来学園独自の取り組みである、未来創造探究の授業では、自分たちのふるさとについて学びを深めることができました。入学早々に双葉郡の現状を知るフィールドワークがあり、震災から六年経っても壊れたままのお店や人気のない街並みなどを見て、同じ福島に住んでいながらもその現状を知らなかったことに対して恥ずかしく、悲しい気持ちになりました。その時に感じた、地域のために何かしたいという強い思いを持ちながら、私たちは三年間探究活動をしてきました。自分たちの目を見たもの、感じたものを形にし、今では中学生と高校生合わせて約二百のプロジェクトが実践されています。地域課題の解決策は考えれば考えるほど出てくるものだと思います。卒業後に探究を続ける者もいます。在校生の皆さんも歩みを止めず、納得のいくまでとことん追求してってください。私たちは、この地を離れても、ふるさとに対する思いとふるさとを思う人々の思いを心に刻み、生

活していきます。

さらに、今年度も部活動は非常に盛んでした。全国規模で活躍している J F A アカデミー福島やバドミントン部、レスリング部。甲子園まであと一歩だった野球部。全国大会まであと一勝だった本校舎の女子サッカー部。F 1 に昇格した本校舎の男子サッカー部。東京公演まで登り詰めた演劇部。他の部活動も、先輩方の背中を必死に追いかけ、素晴らしい結果を残してくれました。その活躍は多くの人々に、たくさんの勇気と感動を与えました。間近で応援できたことをとても嬉しく思います。

私たちは、決して自分一人だけで三年間を過ごせたわけではありません。いつも支え、励ましてくれた仲間がいたからこそ今の自分がある、心からそう思います。百四十名の仲間と、この場所で会えなくなることはとても寂しいです。この三年間という時間は、私たちにこの場所以外では決して得ることのできない、たくさんの思い出をくれました。この思い出が、このふたば未来学園で育むことができた友情こそが、かけがえのない宝物です。そして、このように幸せいっぱい学校生活を送ることができたのは、いつの日も温かく見守り、共に喜び、時に厳しく叱って私たちを導いてくださった先生方、私たちの活躍をいつでも応援してくださり、協力してくださった地域の皆様、そして最後まで私たちを信じ、一番近くで寄り添い、見守り続けてくれた家族のおかげです。卒業生一同、改めて感謝申し上げます。

在校生の皆さん。皆さんと過ごした日々は、私たちにとってかけがえのない思い出です。私たち三期生は本日をもって旅立ちますが、まだまだふたば未来学園は進化し続けることと思います。在校生の皆さんが、ふたば未来学園をさらに素晴らしくする原動力です。これからも辛いことや苦しいことがたくさんあると思います。しかし、皆さんなら必ずその壁を乗り越えられると信じています。皆さんは一人ではありません。どんな時でも、先生方や地域の方々、家族をはじめ、多くの方々が支えてくれています。仲間と協力し合い、時にはぶつかり合いながら素敵な友情を築き、怖がらずにたくさんの事に挑戦し続けてください。今自分にできることを精一杯やり、悔いの残らないような生活を送ってください。皆さんの活躍を、卒業生一同大いに期待しています。これからも共に頑張っていきましょう。

最後になりましたが、今日まで支えてくださった皆様に心からの感謝を申し上げ、ふたば未来学園のさらなる発展と、この場に御臨席の方々の御多幸を祈念し、答辞の言葉といたします。

令和二年三月一日

福島県立ふたば未来学園高等学校

卒業生代表 菅野 光桜